

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CDK			
○保護者評価実施期間	2025年10月27日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理士や教育学など各専門分野に精通した児童指導員が支援を行っている。	集団の中で、お子さん一人一人の成長につながる手立てを職員が検討して支援にあたっている。A equipe examina maneiras de apoiar o desenvolvimento individual de cada criança em um ambiente de grupo.	より専門性を生かしたプログラムが実施できるように、研修などを交えて専門性を高めていきたい。Gostaríamos de desenvolver nossa experiência com treinamento e outras atividades para que possamos implementar programas que façam mais uso de nossa experiência.
2	外国籍の児童や保護者が安心して通所できる環境である。O ambiente é seguro e protegido para crianças e pais de estrangeiros.	・ポルトガル語、日本語と言葉の壁に困らないよう、利用児や保護者に対応している。 ・フェスタジュニーナやバスコアなどのイベントを通して、ブラジルの文化を子どもたちに伝えている。As crianças e os pais que usam o serviço não são afetados por barreiras linguísticas. As crianças são apresentadas à cultura brasileira por meio de eventos como a Festa Junina e a Pascoa.	定期的に保護者同士の子育てに関する話し合いができるよう、年度当初に保護者会の日程を示す。Forneça um cronograma de reuniões de pais e mestres no início do ano para que os pais possam discutir regularmente as questões parentais entre si.
3	周辺に自然散策路や公園などがあり、どんぐりや落ち葉を集めて作品作りするなど自然を生かした活動ができる。 A área circundante possui trilhas naturais e parques, permitindo atividades que aproveitam a natureza, como coletar bolotas e folhas caídas para criar obras de arte.	庭での花の栽培、落ち葉などを使った作品作りなど、四季を感じる活動を実施。Atividades que permitem vivenciar as mudanças das estações, como cultivar flores no jardim e criar obras usando folhas caídas.	定期的に栽培活動に取り組んでいきたい。 Gostaria de participar regularmente em atividades de cultivo.

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化が物理的に難しく、身体障碍などの受け入れができていない。O acesso sem barreiras é fisicamente difícil de conseguir e não temos condições de acomodar pessoas com deficiências físicas.	戸建ての施設で、玄関に階段があるなど身障者にとっては不便な要素が多い。Os edifícios isolados apresentam frequentemente elementos como escadas na entrada, o que causa inúmeros inconvenientes às pessoas com deficiência.	必要な方には、地域の事業所を紹介する。 Para aqueles que precisarem, apresentaremos prestadores de serviços locais.
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

CDK

公表日 2026 年 1 月 16 日

利用児童数 7

回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					法令を遵守してスペースを確保しています。引き続き、契約時に文書を用いて説明を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6					法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置しています。引き続き、契約時に文書を用いて説明を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1				建築の構造上不十分ですが、屋内の段差はありません。階段には滑り止め防止などの安全対策をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					利用児童、保護者様が安心して利用いただけるよう療育内の整理整頓、清掃・消毒など時間帯毎に行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					社内共通のアセスメントシートを使用して、アセスメントをもとに担当職員で話し合い、支援計画を作成しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	1				個別支援計画をもとに一人ひとりの特性を踏まえた支援プログラムを立案し、支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					保護者様のご要望を取り入れ、集団支援・個別支援担当職員と話し合いを行い作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1		移行支援については小学校から中学校、中学から、高校への進路の際、学校と情報共有するなど連携を図っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					個別支援計画に沿って支援を実施しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			1		認知面、言語活動、体幹運動から季節に合わせた工作活動など5領域に即した、プログラムを実施しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3			3		地域交流の一環として、児童館などへ行き他の児童と交流できる機会を作っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					新規・更新の際に計画の説明を行っています。同意を得てから、支援開始をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			2		保護者参加型のイベントを開催し、情報収集・共有できる交流の場を設けています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					送迎時や支援後に保護者へ支援中の様子を伝えたり、SNSで報告をするなどして共通理解に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					対面での面談やSNSなどを使い、相談内容に合わせて必要な助言と支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					支援の様子をSNSなどで細やかに伝えしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6					保護者会を定期的に開催し、保護者同士の交流や情報収集の場を設けています。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1	家族の申し入れに対して、心理担当職員など適時、家族支援をしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1	マニュアルを作成し訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				安全計画を策定し、事業所内に掲示していますが、周知を図るよう、年度初めに各家庭に計画書を配布します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		CDK		公表日		2026 年1 月 16 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者の発達段階に応じて、使用する部屋を決めている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされている配置数に加え、職員を1名以上配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		戸建て住宅であるため、車いすを使用する身障者への対策はできていない。階段には手すりがあり、床に滑り止めのシートを貼っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		年齢や体格に合わせて机・いすを整備し、支援前後に清掃。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		本人の気持ちの切り替えとして、必要に応じて別室で対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		週1回の会議において、現状把握や課題の抽出、業務の見直しを行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や業務継続訓練の際に、意見交換を行い業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けている。	法人で第三者評価を行っていないが今後検討。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修を年6回以上。法人研修を年6回以上実施。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		プログラムの予定は月の予定で周知し、HPに公表。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の原案を基に担当者会議を実施している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		担当者会議で共有し、支援計画に沿って活動プログラムを作成。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用し、実施。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援、家族支援、移行支援は支援計画に明記している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムは次月の内容について職員で協議している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもやグループの特性によって内容を変化させたり、季節の活動を取り入れたり実態に応じた内容を実施。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人一人の発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援のねらいや活動内容を周知している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		利用者の様子やプログラムの流れ配慮点を確認しあっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や担当者など適任者を選んで出席。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		発達センターの保健師と子どもの様子について連絡を取り合っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育園との併行通園や移行に向けての支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	法人内の別校舎と、イベントで交流。	事業所でのイベントを実施の際、参加を呼び掛けたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会の中で、支援の情報提供や家族支援の話をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		適宜、保護者と面談し保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援の支援内容については、担当者が説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		困りごとや悩み事など心理担当職員を中心に家族支援している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ファミリーカフェを実施し、保護者同士の連携を図っている。 兄弟間の交流する機会として、10月に運動会を実施。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		困りごとや悩み事など心理担当職員を中心に家族支援している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Messengerでイベント情報や避難訓練の様子などを発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のついた書庫に保管。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		活動の流れや指示に対して、動作カードなどを提示している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所でのイベントを実施の際、参加を呼び掛けたり、他の福祉施設へ訪問したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを整理し、職員がいつでもマニュアルを読み返せるようにする。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続のための訓練は、机上でシミュレーションを実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に健康状態などについて伺い、対応方法などの確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に沿って、郊外での交通安全指導や緊急時の対応訓練をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		各職員がヒヤリハットを適宜作成し、予防のための情報共有を図っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回以上事業所内研修を実施。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		緊急やむ負えない場合の原則を、保護者に説明し、必要に迫られた場合記録をとる。	